

令和7（2025）年6月30日

本院における麻疹（はしか）の発生について【第一報】

聖隷佐倉市民病院
院長 鈴木 理志

令和7年6月18日（水）及び6月19日（木）に、麻疹（はしか）の陽性者が当院に受診したことが判明しました。陽性判明後ただちに、保健所と連携し、接触者の特定等適切な対応を実施しております。引き続き、最善の感染対策に努めてまいります。

■感染波及の可能性がある日時：

令和7年6月18日（水）08:30～13:30	接触者の健康観察期間	7月09日（水）
令和7年6月19日（木）10:00～17:30	接触者の健康観察期間	7月10日（木）

■当院の患者さんへ

当院での接触者の方には当院または保健所よりご連絡を入れております。
接触者の方で、今後下記の麻疹を疑う症状が出現した場合には、速やかに印旛保健所疾病対策課（043-483-1466）へご相談ください。
また、当院での受診を希望される方は事前にお電話をお願いします。

【麻疹（はしか）について】

原 因：麻疹ウイルス

潜伏期間：約10～12日間（最大21日間）

症 状：感染の約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が
2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現する。

治 療：特異的な治療法はなく、対症療法を行う。

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力は強い。

感染症法：5類感染症（保健所への届け出が必要）

予防方法：ワクチン接種

以上